

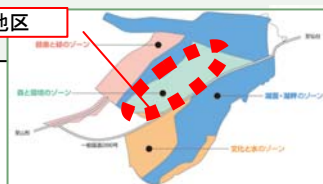
「里山地区」とは？

みちのく公園「里山地区」は、公園区域中央、釜房湖に突き出した部分にある雑木林とスギ・ヒノキなどの植林地で構成された里山です。

「人と自然のふれあい」をメインテーマとして、平成26年春の開園を目指しています。これまで、ツリーハウスづくり、樹林地管理や観察会など、さまざまな活動を行ってきました。

今年度は、開園を目指して、「里山遊び塾」・「里山育て塾」・「里山発見塾」の3つの活動を行っていきます。

里山地区



平成 25 年度は、6月29日に新年度ガイダンスを行い、7月からは活動をスタートしました。「里山遊び塾」を月2回、「里山育て塾」・「里山発見塾」をそれぞれ月1回のペースで、毎週活動を行っています。

里山遊び塾 12月7日（土）晴れ

●キノコの栽培準備

ホダ木に使う伐採木がある皆伐更新の場所で、伐採された樹種を確認しながら、育てるキノコの種類、キノコ栽培の方法や保管場所等について、NPO 法人川崎町の資源を活かす会の菊池さんの指導を受けました。



●ヤナギの挿し木 イベント準備

12/21(土)にで行う「ヤナギの挿し木」イベントのために、植付け予定の場所の刈払い作業をしました。



●井戸掘り

毎週少しずつ掘り進めている井戸掘り。

この日からホリテッカンを弁付のものに変えました。掘りやすくするために水を掘り穴に注ぎ、みんなで交代しながら掘り進めました。



里山発見塾 12月14日（土）雪時々曇り

●日本の植生と里山の維持管理

この日は午前中雪が降っていたので、午前中はあだこで一般的な日本の植生、外来種の影響、里山の維持管理等についてのスライドでの勉強会を行いました。今後の作業に活かします。



●会員活動準備

次の会員活動で使う、『ウマ』と呼ばれる木材の台づくりを行いました。この台に選んでおいた原木を乗せ、コマ打ち用の穴を開けていきます。3台のウマをつくりました。



「ヤナギの挿し木」イベントのための竹の棒づくり。草刈りの時にヤナギの位置がわかるように、ヤナギの近くに竹の棒を差します。

●井戸掘り

井戸掘りもまだまだ先は長そうです。勢いがありすぎるとせっかく掘った土が弁から落ちてしまいます。試行錯誤しながら掘り進めています



里山育て塾 12月21日(土) 曇り テーマは「キノコのコマ打ち」です。

●第6回会員活動

第6回の会員活動は「キノコのコマ打ち」です。午前中はコマ打ちのための準備をしました。原木を準備しておいたウマに寄せ、電動ドライバーでホダ木を打つための穴を開けます。キノコ栽培名人のNPO法人川崎町の資源を活かす会の菊池さんの指導を受けながら、ボランティアが中心になって、会員と作業しました。



午後は、みんなでコマ打ちと、木の間に菌を挟むサンドイッチ方式の栽培方法を試しました。キノコが育つのに、コマ打ちだと2~3年かかりますが、サンドイッチ方式だと1年で育ちます。最後は、同じ種類のキノコのホダ木ごとに分け、むしろとブルーシートで囲み、仮伏せをしました。6月に本伏せの予定です。上手く育つか楽しみです。

●キノコ栽培について

今回の活動！
寒い時期に行います！

こまめに散水し、乾燥しないようにします。

事前準備

どんなキノコを育てるか決め、ホダ木となる木を決めます。

伐採・玉伐り

90~100cmに切断(玉切り)して、樹種ごとにまとめておきます。

植菌

きのこの種(コマ)を原木に打ちこみます！

仮伏せ

水はけのよい林地や直射日光の当たらない場所を選び、保温・保湿します。

本伏せ

梅雨前に行き、森林内に移動させ、本伏せします。

発生・採取

発生時期はキノコや栽培方法によって様々です。

キノコの種類に適した原木：今回は、里山で伐採したコナラとサクラを使いました。

	コナラ	クヌギ	サクラ	エノキ	シデ類	ヤナギ類	収穫期
しいたけ	◎	◎			○		春・秋
なめこ	○	○	◎		◎	○	晩秋
ひらたけ	○			◎	◎	○	晩秋
むきたけ	◎		◎			○	晩秋

今回はしいたけ・なめこ・ひらたけ・むきたけの4種類のキノコを栽培します。むきたけの植菌は、まだできていません！やらかくちゃ！

